

国連婦人の10年（1976年～1985年）
後半期の2年目となりました

■ 国連婦人の10年1980年世界会議において国の発展と世界の福祉 平和の推進のためにあらゆる分野に 婦人が男子と等しく最大限に参加することの必要性和 社会や家庭での男女の固定的な役割と責任を変えていくことの重要性が強調されました

■ これを受けて 我が国でも 昨年5月「婦人に関する施策の推進のための『国内行動計画』後期重点目標」が策定され 行政の推進すべき諸施策が示されるとともに この目標達成のためには 国民全体が それぞれの分野において 活発な活動を展開する必要があることが指摘されています



昭和21年4月10日に 日本の婦人は はじめて国会議員を選挙し 男性と同じく政治に参加することになりました

この日を記念して 労働省では 昭和24年以来毎年4月10日から1週間を「婦人週間」として婦人の地位を高めるための運動を主唱し 本年は 第34回を迎えます

本年はさらに国際婦人年に続く「国連婦人の10年」の後半期の2年目として「国内行動計画」に基づく啓発活動の一層の推進を図るため「あらゆる分野への男女の共同参加—明日を築く役割と責任—」をテーマとして全国的に運動を展開します

●御相談ごとは 下記婦人少年室や婦人少年室
協力員へ

あらゆる分野への
男女の共同参加

—明日を築く役割と責任—



第34回婦人週間
4月10日～16日

労働省婦人少年局

あらゆる分野への男女の共同参加

明日を築く役割と責任を共に担いましょう

あらゆる分野への

男女の共同参加とは

男は仕事 女は家庭という
固定的な役割分担意識から
ときはなたれ

たがいに
対等な人間として
理解しあい
協力しあって

あらゆる分野で
等しく機会を得て
社会の発展のために
役割と責任を

共に果たしていくことです

共に 社会の一員として
責任をわちあい
よりよい生活を営むために

女性 は

- 社会とのかかわりを考えた主体的な生活設計を持ちましょう
- 職場や地域社会における政策方針の決定などに参加しうよう能力の向上につとめましょう
- 新しい仕事や責任のある仕事に積極的にとりくむ意欲を持ちましょう

男性 は

- いこいの場として 次代の育成の場として家庭への理解を深め 家族との人間的ふれあいを大切にしましょう
- 近隣との交流や連帯等へ認識を深めましょう

男女の役割を固定して

考えてはいませんか

あなたの周囲を見直して

共に改めていきましょう

- 男の子も女の子もわけへだてなくしつけ教育していますか
- 男女にかかわりなく能力や適性にあった学科を選択していますか
- 老人や子供の世話は 女性だけの仕事と考えてはいませんか
- 仕事が女子向き男子向きと固定化されていませんか
- 地域のしきたりやとりきめは男性優先になっていませんか

新しい

パートナーシップに基づく

役割と責任を

家庭で 職場で 地域社会で

共に 考え 担いましょう